

有機 JAS 別表 1
適合資材

卵殻の恵み ご案内



JASOM-181201

<特徴>

- 1.原料は安全で衛生的な食用の玉子の殻のみ。
- 2.殻のみを 600℃の高温で焼いて細かくして作った天然の有機肥料です。
- 3.土壌のカルシウム補給に最適で、作物の病害に対して効果が有ります。
- 4.土壌の酸性化を防ぎ、有機物の分解を促進し土壌を若返らせます。
- 5.有機 JAS 別表 1 の基準に適合した安心・安全の有機肥料です。



お使いいただいている方の声



合鴨ごんべい
代表 上村一昭様
(上村農園様)

「卵殻の恵み」を5年ほど使っています。お米への施肥は収穫後、卵殻の恵みを一反当たり7袋(140kg)と魚のアラから作った有機肥料約50kg使っています。これ以外の肥料は使わなくても土が強くなり、葉が大きく茎も丈夫で倒れにくく、美味しいお米ができます。卵殻の恵みは、土に力を与えます。お米以外にもトマト、キュウリ、枝豆にも使っています。どの作物にも大変効果があります。畑に肥料をまくときは、マニアスプレッターでまいています。



力のある土で作ったお米の葉は、25cmも長く育ち光合成も活発になります。



上村さんの作ったお米は、平成29年「第19回米食味分析鑑定コンクール国際大会」で、6,000名の参加者の中で金賞を受賞。



新潟大学農学部さんに研究していただきました！

「卵殻の恵み」の施肥効果を2019年度はほうれん草に続いて、「お米」で研究していただきました。実際にお使いいただいているお米農家の方からは、使い始めて3年目の頃「味が変わったけど(美味しくなった)何をどうしたの」と聞かれたそうです。また、上村さんからは根が張り、強い風でも倒れず収穫を迎えることができたとお聞きしました。

研究結果は、裏面をご覧ください。普通肥料に対して分けつ数が増加し、穂数が普通肥料の対照区と比較して有意に高くなるという嬉しい結果をいただきました。

田んぼにまくタイミングは、収穫が終わった秋。ゆっくりと効果が浸透していくため、お米に関しては3年くらい継続していただくと、実感できること間違いなしです。



20kg袋・1フレコン(700~800kg入)の2種類があります。

ご予約、お問い合わせ先

株式会社 ワイエムフーズ 総務部
新潟県阿賀野市京ヶ瀬工業団地3610-157
電話 0250-67-2797
日祝日を除く 9:00~16:30

分析試験結果

(検査機関 一般社団法人 県央研究所)

アルカリ分	43%
石灰全量	46%
窒素全量	1.4%
苦土全量	0.50%
加里全量	0.064%
水溶性窒素	0.024%
リン酸全量	0.27%
水溶性リン酸	0.020%
水溶性カリウム	0.039%
クロム	0.1 未満
ニッケル	0.1 未満
チタン	0.01 未満

ワイエムフーズからのお願い

- ・当社は鶏卵加工品の製造を行っており、製品製造時に発生する玉子の殻だけを原料としていますので、安心してお使いいただけます。
- ・生産量に限りがございますので、あらかじめお電話でご入用の数量のご連絡をお願いいたします。

● 幼穂形成期までに卵殻の施用により分けつ数が増加します

	SPAD平均	分けつ (数)	草丈 (cm)	乾物重 (g)
対照区	32.2	13.8	83.7	15.2
卵殻30kg/a	32.6	14.3	78.8	13.5
卵殻60kg/a	31.9	16.0	83.2	14.4
(肥料無施肥)	27.1	3.3	76.2	13.0)

・ 対照区（普通肥料）に対して卵殻施肥により草丈が抑制され、分けつ数が増加する傾向が認められます。

未熟砂壤土を用いたポット試験により施用試験を実施した。

（肥料無施肥区は極端に分けつ数が少なかったため統計解析からのぞいた）。

● 収穫時、卵殻の施用により穂数が増加し籾重が増加します

	草丈 (cm)	穂数	穂重(g)	種子重量(g)
対照区	124.9	11.3	10.6	10.1
卵殻30kg/a	117.1 ^a	12.1	11.9	11.2
卵殻60kg/a	115.2 ^a	13.4 ^a	12.6	12.2
(肥料無施肥)	74.5	3.2	1.3	1.2)

a: t検定で対照区に比べ危険率5%で有意差あり

・ 草丈は対照区と比べ卵殻施肥区で有意に低くなります。穂数は卵殻60kg/a施肥区で対照区と比べ有意に高くなりました。

未熟砂壤土を用いたポット試験により施用試験を実施した。

（肥料無添加区は著しく生育が悪かったため、統計解析からのぞいた）

卵殻の施用により、生育初期に分けつ数が多くなり、追肥による徒長を抑制し、穂数が確保できることが示唆されました。

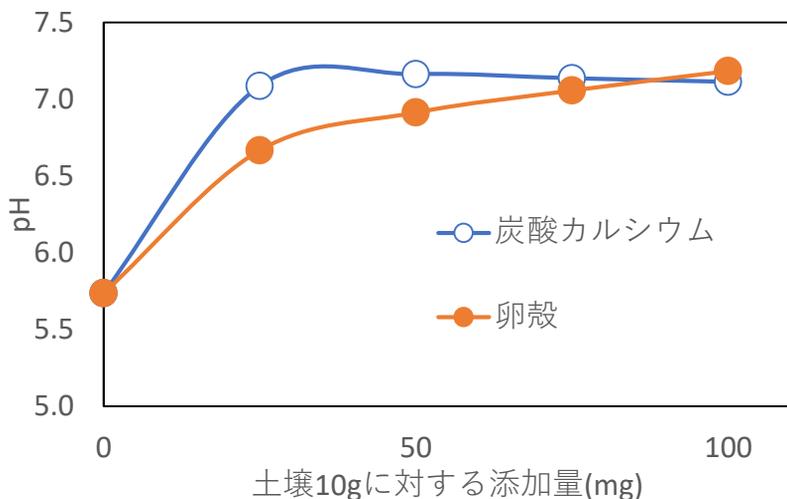
卵殻の効果

株式会社YMフーズとの共同研究結果概略

新潟大学農学

植物栄養・肥料学研究室 准教授 大竹憲邦

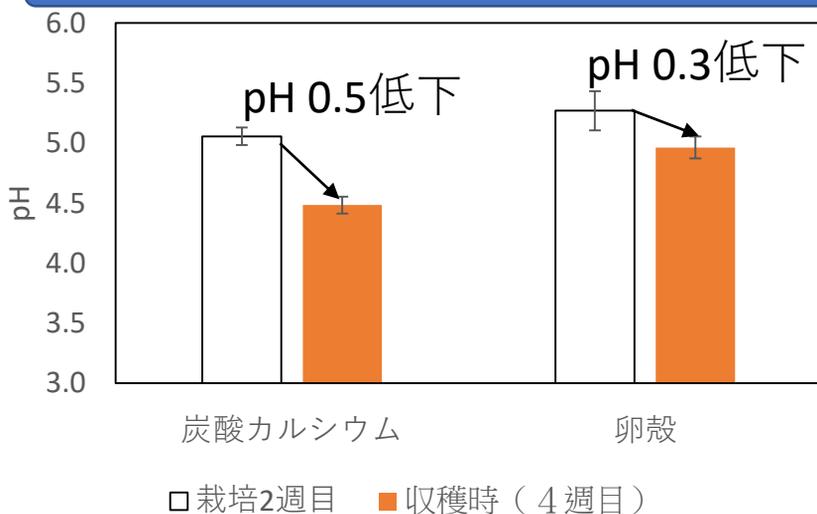
● 土壌を中和する能力があります



・ 土壌に対して炭酸カルシウム(アルカリ分50%)と同等の中和効果を示しました。

(炭酸カルシウム25mgに対して卵殻75mgを施用すると土壌10gをほぼ同じpHに中和します)

● 卵殻の連用により、土壌中和が持続するようになります



・ 3作連続して卵殻で中和した土壌を用いてホウレン草を栽培した際、土壌pHの減少が抑制されました。

(栽培開始時は約pH6.2に調整しています)

● 卵殻の施用により、ホウレン草の生育が良くなります



pH無調整 炭酸カルシウム 卵殻

・ 生体重の増加が、pH無調整および炭酸カルシウム中和区と比べて卵殻施肥により高くなる傾向が認められました。

(写真は栽培4週後(収穫期)の植物)